新年号　　第２３３号
発行日　平成２３年１月１日（土）
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　八王子市初沢町 1227－4－A－522
ＴＥＬ　（０４２）６６３－９７５８
発行人・望月　成一
編集者・三浦　和夫

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/

八王子に囲碁文化の花を咲かせたい

碁楽連会長　望月成一

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様が今年一年楽しく健やかでありますようお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと記録的な夏の猛暑が各方面に大きな被害をもたらし終りました。

私は今年のお正月５日、日本棋院の打ち始め式に碁楽連の９人のメンバーと参加する予定にしています。例年、日本棋院は１月５日の打ち始め式の行事から始ります。昨年は浅川囲碁同好会メンバー２人と初めて参加しました。２階にある会場の壇上には大竹英雄理事長を筆頭にタイトル保持者が勢揃いして、理事長の新年の挨拶、来賓の方々のお祝いの言葉が終ると祝賀会が始ります。

会長に就任して既に今期も半分過ぎ、１月の棋聖大賞囲碁大会、２月のタイトル囲碁大会そして３月の総会を残すのみとなりました。昨年３月の総会で大任の会長に就任したとき、今期の最大の課題は何かとまず考えました。一般社会がそうであるように会員の高齢化問題です。会員４００名の平均年齢が７４才で、１０年・２０年先を見据えたとき一日も早く対策をとらないといけないと考えました。それには皆様からの幅広いお知恵を拝借しようと４月から始めた理事会の内容を変えました。理事会は地区同好会選出の６人の理事で構成されています。碁楽連には研修部、特別任務委嘱業務等があり、それらと透明化を計りながら情報交換しました。４月は東浅川・南大沢研修部の事務長、５月は特別任務委嘱者のこども囲碁教室と初心者教室の担当責任者、６月は特別任務委嘱者のホームページ担当者、７月は技術顧問会会長、研修部の両事務長に月例理事会に参加していただき協議しました。そして最後の８月は三浦浩相談役をお招きして懇親会を開き、幅広い情報交換をし、５ヶ月間に亘り有意義な会合ができたと思っています。これからの碁楽連の若返り・発展向上のため、次のことを考えてみたいと思います。

新しい型の“八王子囲碁連盟”の名称を復活させて、その傘下に碁楽連、研修部、子供囲碁会、初

心者教室、そしてその他中学校、外部機関等に働きかける。しかし、暫らくは碁楽連が中核として運営する。更に秋の１１月３日（文化の日）に八王子市が主催する市民文化祭囲碁大会も碁楽連が大会運営（主管）しているので、八王子囲碁連盟の傘下に実質入れられると思います。嬉しいことに１１月３日の市民文化祭囲碁大会は２３年度以降東淺川保健福祉センターが会場となり、選手の参加収容人数も従来より１００名から１５０名へと５０％アップとなります。２２年度を初年度として碁楽連発展向上のため、５ヵ年位の計画で行動の第一歩を踏み出したらどうでしょうか。そして八王子市に全国一の囲碁文化の花を咲かせたいとおもいます。

第18回碁楽連タイトル囲碁大会の案内

日　時　　平成２３年２月１３日（日）受付午前９時～９時３０分
場　所　　東淺川保健福祉センター　４階
　　（東淺川５５１－１　Tel　６６７－１３３１）
主　催　　八王子の碁を楽しむ活きいき連合（碁楽連）
後　援　　八王子市、同教育委員会、日本棋院
参加資格　各地区同好会の平成２２年度前期・後期のタイトル獲得者（もしタイトル獲得者が参加できないときは、王座と天狗戦に限って届け済みの準優勝者が代わりに参加できます）
参加費　　７００円
競技方法　碁楽連方式
注意事項　自家用車での参加はなるべくご遠慮ください。

◎タイトル戦に関して地区同好会会長さんへお願い

12 月 14 日に文書でお願いしましたが、以下について 1 月 20 日までに同封のはがきか、または他の方法により連絡をお願いします。

（1）後期地区タイトル戦の優勝者・準優勝者の氏名（名人戦は優勝者のみ）
（2）第18回タイトル戦（上記に案内）への出場者名
　　連絡先：三浦和夫　四谷町 731-6
　　Tel/Fax：　624-5429　　Ｅメール　：kz513miura@ybb.ne.jp

第 20 回碁楽連囲碁大会（二段以下）が開催されました

碁楽連大会２段以下の部が１２月５日に行われました。当日２段以下の１４名の方々が高齢者表彰されました。更なるご健勝を祈念いたします。

高齢表彰者

	NO.	年 齢	NO.	氏 名	所 属	段 級	生年月
2段以下（14名）	1	80歳（7名）	1	中村千秋	浅川	2段	S. 5. 11
	2		2	大野稔夫	↑	2段	S. 5. 5
	3		3	小峯貞雄	恩方	2段	S. 5. 10
	4		4	田中駒雄	北野	2段	S. 5. 9
	5		5	佐藤吉男	↑	2段	S. 5. 11
	6		6	日比野勉	↑	3級	S. 5. 3
	7		7	長井倭男	川口	初段	S. 5. 3
	8	85歳	1	堀口 哲	浅川	2段	T. 14. 1
	9	88歳（3名）	1	清水明一	石川	2段	T. 11. 10
	10		2	小林雄平	由木	4級	T. 11. 11
	11		3	野口勝久	長房	3級	T. 11. 9
	12	90歳以上（3名）	1	倉田政治	台町	2段	M. 45. 8 98歳
	13		2	松本源一	由木	3級	T. 7. 5 92歳
	14		3	中岡 誠	北野	2段	T. 7. 5 92歳

大会の結果

参加者（７１名）	優勝	準優勝	第三位
A組（2段） １８名	堀口 哲 2段/浅川 →3段に昇格	栗原久男 2段/大和田	正岡得達 2段/淺川
B組（2～初段） １５名	遠藤 博 初段/石川 →2段に昇格	浜中武夫 2段/中野	中村益大 2段/浅川
C組（初段～1級） １８名	小俣准一 初段/川口 →2段に昇格	一条幸吉 初段/北野	長島健治 1級/由木
D組（2級～5級） ２０名	平山 統 2級/元八 →1級に昇格	岡田禎治 2級/台町	東山 栄 3級/川口

◎訂正 碁楽連だより前号（２３２号）３ページ高齢者表彰者について下記のとおり訂正します

３段以上 誤２０名→正１９名　　８０歳 誤１４名→正１３名　大野稔夫 → 削除（2段のため）

投 稿

囲碁にまつわる話題

北野寿囲碁同好会　山本　林

１．小生、永年、「Yahoo ネット碁」を通じて、全国に散在する碁の愛好者と対局、勝負の結果によるレーティングの上下にやきもきしたり、時にチャットで親睦を深めたり、あるときは北野同好会会

員同士で対局をし、また、碁敵の碁をのぞき見したりして、相手の碁の組み立て方を勉強するなど大いに利用してきたところ、今回、１０月５日限り、年齢７歳から８０歳までに限り、参加可能と制限され、小生の場合、たまたま傘寿を超えていたため、失格となりました。　仮に申告年齢を偽って参加しようにも、本人確認の認証制度があり、このためには携帯電話若しくはクレジットカードによる申告を求められ、結局、メンバーとなることを諦めざるを得ませんでした。　この理由として同社が新たにリリースした「モバゲー」に移行してもらう算段なのかと勘ぐっていますが、これは、憶測に過ぎず、なぜ、天下のYahooたるもの、高齢化時代に逆行するような仕分けをしたか理解に苦しんでいます。　同ネット碁のプレイ人数は、従来、４，０００人を超えていたところ、システム変更後、約半数に落ち込んでおり、それにも関わらず、年来の顧客を切り捨てて登録ができない年齢制限をしたメリットは、どこにあるか不可思議なことです。　他に「ハンゲーム」、「WING」と言った無料ネット碁サーバーがありますが、内容的に一長一短があり、また、有料の通称「パンダ碁」もあり、登録先について思案していたところ、たまたま、「碁楽連だより」編集者の三浦さんから「KGS　Go Server」を紹介され、早速、「User name、Password」の登録及び指定を受け、現在、対人・自動対局にしてゲームを楽しんでいます。　このサーバーは、外資系なのか、パスワードの通知は、英語で、また、対局者も外人が多く、テーブルも「English Game Room」とか「Beginners' Room」などと英語の表記となっており、また、外人の場合、チャットルームでの会話は、英語となります。　このサーバーは、ネット碁を通じて、英語の勉強もできる一挙両得のゲームと思う次第です。

２．毎週日曜日午後、３チャンネルで放映のNHK杯囲碁トーナメント戦をほぼ逃さず、観戦しています。　当日、同好会の例会があることから、生で見ることができず、ほとんど録画し、再生で楽しみ、時に棋譜をパソコンで作成し、碁友に配布したりしています。
さて、去る１０月１７日の対局は、宮澤吾朗九段対名人戦挑戦者・高尾紳路九段で、結果は、宮澤九段の２目半勝ちとなりました。　因みに、宮澤九段の息子さんは、現在、東京海洋大学客員準教授で、タレント・イラストレーターでも有名なかの「さかなくん（本名　宮澤正之、１９７５年８／６生)」です。　この親子関係をご存じの方も少ないかと思いご披露させていただきます。
　さかなくんもお父さんの影響から碁を嗜まれていますが、ここでネット・サーフィン等で調べた結果、ご参考までに碁を打つ有名人を以下にリストアップしてみました。　☆ 政治家：与謝野馨、菅直人、小沢一郎、塩川正十郎（関西棋院理事長)、福田赳夫、後藤田正純
　※　学校法人城西大学理事長水田宗子さんが「人柄映す趣味の碁と俳句」と題して新聞に寄稿されており、その中で私の原点、父、水田三喜男（元蔵相）が碁を覚えたのは戦時中の会社役員のころ、社長などが愛好者で、あっという間にトリコになり、そして政治家とはもちろん、政務の合間に秘書と、夜回りの番記者と家でも一手、国際会議途上の飛行機の中でも打ったというほど寸暇を惜しんで碁を楽しんだ。その棋風は、人呼んで「五月雨碁」。１時間に３，４局もこなすエネルギッシュさ。ライバルは、「早いとか何とかでなく、碁石を握ってばらまいているに過ぎない。」とまで表されていた。左手で碁笥を持ち、握った石で盤の脇腹をポンポン、親指と小指で挟んでポソッと置く。そして待ったを言わない潔い碁。政治家仲間でも指折りの実力派、池田勇人元首相ともよく対局したと触れておられます。

☆スポーツ選手：イチロー、普天王（ヒカ碁で刺激）、旭鷲山（モンゴル囲碁協会名誉会長）、☆芸能人：きたろう、はなわ、萩本欽一、辰巳琢郎、☆ビジネスマン：ビルゲイツ（マイクロソフト社）、山内（任天堂元社長）、☆その他：若田光一（宇宙飛行士）、ダニエル・バリー（若田さんとシャトルに同乗の宇宙飛行士）、畑正憲（ムツゴロウ）、山本圭（俳優）☆文人：豊島与志雄、川端康成、小林秀雄、三木清、村松梢風、徳川夢声、三好達治、倉田百三、尾崎一雄、坂口安吾　　※文人の中で一番強いのが坂口さん、次が尾崎さんで、前者は、相手を油断させたり、隙をついたりする心理型、尾崎さんは、粘り強く、その場面で自在にスタイルを変える変幻型と言われていた由です。

３．２００７年１０月当時の読売紙の記事・・・政界きっての囲碁好きで知られる民主党小沢代表と自民党与謝野馨前官房長官が２８日、都内のホテルで囲碁の公開対局を行い、小沢氏が勝利した。与謝野氏は、官房長官当時、記者会見で「小沢氏を囲碁の世界で指導している」と発言した。　これを聞きつけた日本棋院が囲碁で白黒つけようと企画した。
両氏の熱戦は、約２時間に及んだ。　序盤は、局面が二転三転するなど目まぐるしい展開だったが、最終的に小沢氏が大差をつけ、１５目半勝ちした。　対局後、与謝野氏は、「この結果が報じられると思うと暗澹たる気持ちだ。　小沢氏は、本当に強くなった。　雪辱戦をやりたい。」と記者団にぼやいた。
※　与謝野氏は、当時、動きが見られた自民党と民主党との大連立のパイプ役ではなかったかと取り沙汰されました。

４．　囲碁名人戦は、井山裕太名人対高尾紳路九段との対局、井山名人が初防衛を果たしましたが、その舞台の一つとなったのが、四国の松山市です。　松山市は、皆様ご存知の司馬遼太郎原作「坂の上の雲」の主人公、秋山好古、秋山夏之兄弟そして俳人、正岡子規・高浜虚子の出身地です。　子規が古都奈良の秋を思い浮かべて詠んだという「　☆　柿食えば　鐘が鳴るなり　法隆寺」は、余りにも有名ですが、因みに子規の義父は、囲碁教室の先生だったとかで、その影響から必然的に碁を打ったと考えられ、現に次のような句を残しています。☆　月さすや　碁を打つ人の　うしろ迄　　☆　碁の音や　芙蓉の花に　灯のうつり　☆　碁に負けて　忍ぶ恋路や　春の雨　　※　情緒がありますねー。
また、松山中学の英語の教師を勤め、子規の親友かつ碁友でもあった文豪、夏目漱石の句　☆　連翹の　奥や碁を打つ　石の音　があります。
※　文献によると「連翹」とは、モクセイ科の落葉低木、枝は、叢生し、長く伸びて垂れる。「連」は、実が並んでいることを表し、「翹」は、雉子が尾羽を広げて高く飛び立つ様を表している由です。
序でながら、俳聖と言われる芭蕉は、次のような付け句（連句）を残しており、俳聖も行脚の合間に碁を楽しんだものと思われます。
　☆　道すがら　美濃で打ちける　碁を忘れ　　☆　碁の工夫　二日閉じたる　目をあけて
また、読み人知らずにこんな句があります。　☆　下手な碁の　四隅かためる　日永かな　　☆　淋しげに　柿食うは碁の　知らざらん　　☆　蓮の実の　飛ばぬに死にし　石もあり　　☆　レディスデー　碁石の音も　春めける　☆　川柳めいた俳句　年の瀬や　あたりあたりの　碁打ち哉　　※　年

末ジャンボ・ドリーム宝くじの当選に繋がると良いのですが・・・。
※　１０月２９日付け新聞は、来期囲碁名人戦（リーグ戦）の９棋士決まると報じています。この中にイケメン林漢傑七段（２６歳）という俊英の初出場が報じられており、結果を注目したいものです。

５．小生、毎週火曜日午後、住まいとするマンション内の冷暖房完備の集会場に同じマンション内に住む北野寿囲碁同好会会員及び非会員の囲碁愛好者を含め４名の方に声をかけ、また、近くに住む同好会会員７名の方にも呼びかけ、現在、１２名で囲碁サークルを開催し、和気藹々のうちに例会を楽しんでいます。　ルールは、レーティング方式（５勝するとボーナス点１をプラス)、会費は、無料です。　毎回出席する方は、ほぼ８名程度でこじんまりとしたサークルとなっています。　このサークルでは、前述のNHK杯囲碁トーナメント戦の棋譜を当日、参考として会員に配布し、棋譜を元に時に意見を交わしたりしています。
この会を毎週火曜日とした理由は、小生がレギュラー会員として利用している北野駅南口のスポーツクラブが当日、機械のメンテナンスで休業となることに由来しています。　たまたま、同クラブのプールで知り合い、碁の愛好家で大型二輪車のライダーでもあるTさんという方をお招きし、会員と対局していただいたところ､サークルの最強者も4～5目置かないと歯が立たないというベテランで、その方も当会員の腕に呆れたのか、このところ足が遠のいておられます。　現在、会員同士、上位を目指し、研鑽し、切磋琢磨している次第です。　　２０１０年１１月１０日記

◎第７回　碁楽連理事会

日時　　平成２２年１１月２７日（土）９：００～１２：００
出席者　理事５名（刀根理事欠席)、三上靖宏・端山昌夫氏
議案　　１：碁楽連大会(２段以下)の内容確認
　　２：棋聖大賞囲碁大会の案内・要項について
　　３：タイトル囲碁大会の案内・要項について
　　４：申請書類について
　　５：研修部からの報告・要請について
　　６：市民囲碁大会の２３年度以降の会場について

編集後記　碁楽連囲碁大会（3段以上）に９４歳の中田勉さんが参加されましたが、２段以下の大会には９８歳の倉田政治さんが参加しました。本年も元気に大会に参加されますよう。
　会員の皆さんのご健勝を祈念しますと共に本年もよろしくご協力くださいますようお願いします。